

日本の未来を拓く！
君たちも共に進もう！



左：大手町フィナンシャルシティ グランキューブ（千代田区 | 2016年）

右上：有楽町イトシア（千代田区 | 2007年）／右下：高齢者総合サポートセンター・九段坂病院（千代田区 | 2015年）

東京利友会

建設産業は、都市や街を美しく整備し、交通網を進化させ、人々の暮らしを自然災害から守り、社会の安全と豊かさを実現する誇りある仕事です。

その最前線に立ち、現場のモノづくりを担うのが、我々専門工事業者の管理者であり、そこに所属する大勢の職人たちです。東京利友会は、そのプロフェッショナル集団として、これまで戸田建設が受注した現場の施工を支え、数々の難工事の完成に貢献してきました。

そこに人の暮らしと社会のニーズがある限り、建設産業がなすべき仕事は、まだまだ無限に広がっています。私たちと共に、日本の未来を築くビッグプロジェクトに参画し、汗を流し、知恵を出し、輝いてみませんか。将来に夢と希望抱く、ガッツある君たちを待っています。

東京利友会 会長 遠藤和彦（向井建設株式会社）

利友会
会員会社の
求人情報



東京利友会の手でつくり上げた作品



先輩からのメッセージ



人の輪が良い建物を造ります

東京利友会 リクルート部会委員 太田裕人

製造の現場は多くの部分が自動化され、人の手を介さずに製品が出来るようになりましたが、建築の現場は基本的に人が造る世界です。多くの人たちが図面を見て打ち合わせ、互いにチェックして作り上げていきます。人と人が協調し、切磋琢磨し、場合によっては意見をぶつけ合いながら作り上げるのが建物です。そうして出来上がった建物は、その建物で働き、居住し、使う人たちに多くの満足感を与えることができるはずです。若い皆さんにも是非その醍醐味を味わっていただきたいと思います。



明日の街づくりの担い手に

東京職長会 会長 永岡正行

私が建築の現場に出てもう28年になります。この間、建物のデザインや施工方法はずいぶんと変わりましたが、私の中で変わらないものはできあがった時の喜びと、信頼できる仲間との出会いです。みんなと一緒にあってできあがった建物は街に根を降ろし、街の風景に一体となって長い期間残ります。大量生産で生まれる製造業の製品と違い、一品生産の建築物は全てを機械化してオートメーションでできるものではありません。造る人たちの気持ちが込められた建築にあなたも参加してみませんか。